


平成30年度 事業概要

豊川



 **豊川** 改修工事着手から80年
安心・安全な豊川を次世代へ...

国土交通省 中部地方整備局
豊橋河川事務所
平成30年4月

豊川の概要

豊川は、その源を愛知県北設楽郡設楽町の段戸山に発し、山間溪谷を流れて当貝津川、巴川等の支川を合わせて南下し、愛知県新城市長篠地先で宇連川と合流し、その後、豊橋平野で宇利川、間川等の支川を集めた後、三河湾に注ぐ幹川流路延長77km、流域面積724km²の一級河川です。

源	流	段戸山(1,152m)
流域面積		724km ²
幹川流路延長		77km
流域内人口		約22万人(下流部に67%が集中)
年間降水量		1,800~2,400mm
整備計画目標流量		石田 4,650m ³ /s
河道整備流量		石田 4,100m ³ /s
既往著名洪水流量	戦後最大	昭和44年8月洪水(台風7号) 石田 4,600m ³ /s
	平成最大	平成23年9月洪水(台風15号) 石田 4,000m ³ /s



- 凡例
- 主な既設ダム
 - 主な頭首工
 - 建設中ダム
 - 豊川流域
 - 豊川流域圏
 - 大臣管理区間

流域圏とは「流域及び関連する水利用地域や氾濫原を含む一体的な地域」と定義しています。

平成30年度の事業方針

1. 洪水被害を防止・軽減する治水対策 【水防災、改修】

平成30年度は、4霞地区における築堤のための用地取得等及び牛川地区における浸透対策等を実施します。

- (1) 豊川水防災サミット、水防災の取組み
- (2) 霞堤地区の浸水被害の軽減へ向けた取組み
- (3) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

2. 平成29年台風21号により被災した堤防復旧 【災害復旧】

平成29年10月に発生した台風21号により被災した、堤防の早期復旧を図ります。

- (1) 豊川、豊川放水路災害復旧

3. 良好な河川環境の保全と創出 【環境】

豊川流域が有する多様な生態系、良好な河川環境を保全し、豊かな自然のある豊川を目指した整備を進めます。

- (1) 豊川自然再生事業

4. 着実な維持管理 【維持管理】

災害時に備えて平素から巡視や点検等を行うとともに、地域住民の憩いと安らぎの場として快適な豊川となるよう、維持管理計画に基づき計画的な維持管理を行います。

- (1) 治水機能の維持や安心して快適な河川の利用を支える日常的な維持管理
- (2) 老朽化した河川管理施設の補修
- (3) 流水の正常な機能維持と増進
- (4) 地域と協働した効率的な河川管理の推進

5. 災害・事故に対する危機管理体制の強化 【防災・減災、地域支援】

大規模出水や地震等が発生した際に被害を最小限とするとともに、早期復旧を実現するためにソフト・ハード両面から対策を講じます。

- (1) 災害・事故に対する危機管理体制の強化
- (2) 被災している地域への支援

6. 地域住民との交流 【地域交流】

地域のニーズを把握し、活力ある地域づくりを進めるため、地域と国、住民と行政とのコミュニケーションを深めていきます。

平成30年度 事業費の概要

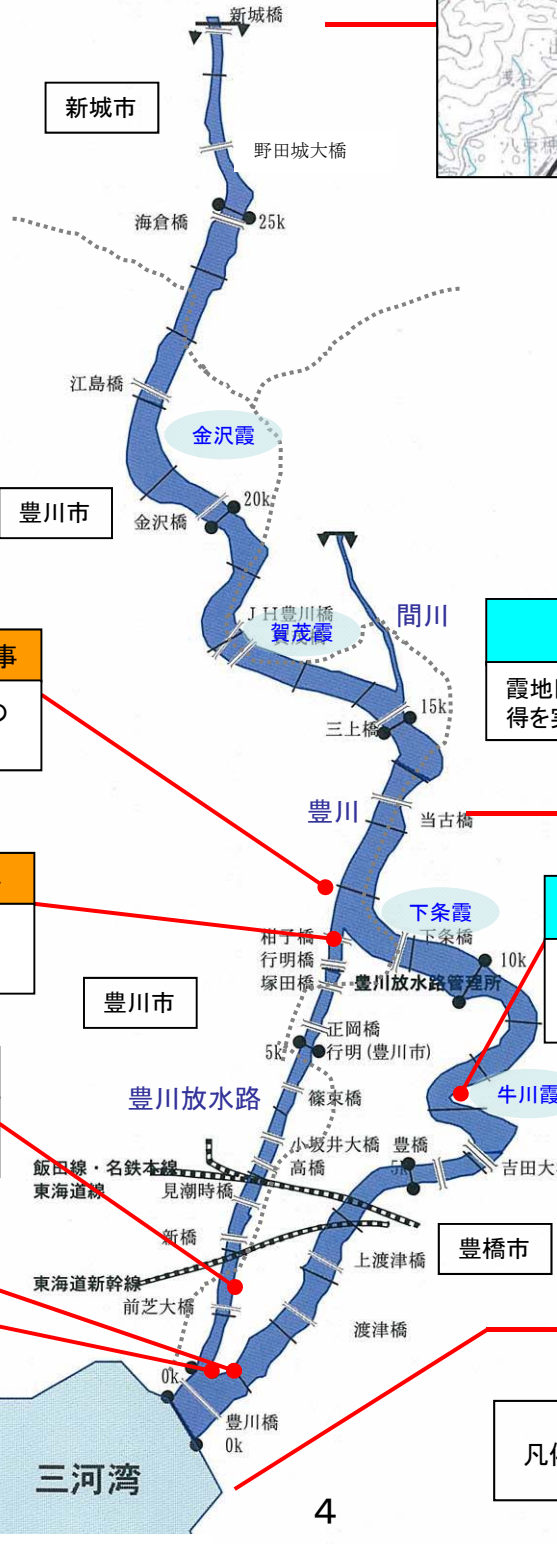
単位：千円

項目	H29 (補正等)	H30 (当初)	備考
河川整備事業費	70,000	1,525,017	
河川改修費	70,000	276,000	
河川維持修繕費	-	583,500	
堰堤維持費	-	150,517	
河川工作物関連 応急対策事業費	-	515,000	豊川放水路 分流堰設備修繕工事 (H29-30国債工事)
都市水環境整備事業費	-	27,400	
総合水系 環境整備事業費	-	27,400	
総合流域防災事業費	33,000	-	
総合流域 防災対策事業費	33,000	-	
受託工事費	-	110,000	
受託工事費	-	110,000	
災害復旧事業費	254,951	44,993	
河川等災害復旧費 (29災)	254,951	44,993	
合計	357,951	1,707,410	

※河川整備事業費及び都市水環境整備事業費は業務勘定を除く。

※H30受託工事費は見込み額を記載している。

工事実施箇所位置図



うしかわかすみ げじょうかすみ かもかすみ かなざわかすみ
牛川霞・下条霞・賀茂霞・金沢霞：霞対策検討
 各霞の開口部対策と支川対策の検討を進めます。

豊川上流部堤防維持管理修繕工事
 堤防除草、維持修繕、ゴミ・流木処理を行います。

古川排水機場ポンプ設備修繕工事
 3台設置されているポンプのうち1台の分解整備を行います。

霞地区：用地取得
 霞地区の築堤工事に向けた用地取得を実施します。

豊川放水路分流堰設備修繕工事
 老朽化している分流堰ゲート設備の修繕工事を行います。

牛川地区：質的整備工事
 堤防の安定性が不足している箇所において堤防補強工事を実施します。
 (H29補正、H30歳出)

清須地区：豊川放水路清須樋管改築工事
 湛水防除事業として、既設排水樋管の改築を行います。

豊川下流部堤防維持管理修繕工事
 堤防除草、維持修繕、ゴミ・流木処理を行います。

清須地区：災害復旧工事
 台風21号により被災した堤防復旧を実施します。
 (H29・30災害)

凡例：
改修 維持 受託 災害

1. 洪水被害を防止・軽減する 治水対策【水防災、改修】

(1) 豊川水防災サミット、水防災の取組み

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」の再構築のために、豊川では豊川水防災サミットを設置し、『「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく豊川の減災に係る取組方針』を策定し、ハード・ソフト対策を国・県・市町が一体的・計画的に推進しています。

「逃げ遅れゼロ」に向けたソフト対策の取組としては、豊川の歴史、自然、防災知識の普及、わかりやすい情報提供、事前の防災行動計画（タイムライン）の策定運用を推進し、「社会経済被害の最小化」を目指したハード対策の取組みとしては、洪水氾濫を未然に防ぐための堤防の強化、水防活動の強化、河川防災ステーション及び防災拠点の検討等を行います。

危機管理型水位計の設置

洪水時のみの水位観測に特化し、機器の小型化や通信機器等のコストを低減した水位計（危機管理型水位計）を設置します。



歴史、自然、防災知識の普及に関する取組



中学校への出前授業の様子

○ 水防災ウォーク

江戸時代に吉田の城下町を洪水から守るため、霞堤と呼ばれる不連続な堤防が設けられており、現在でも左岸側の牛川、下条、賀茂、金沢の4カ所が存在し、洪水時にはその機能を発揮して、豊川本川の水位上昇を抑えています。

この霞堤地区市民が多数参加するウォーキングを通じて、霞堤地区を含む豊川周辺の名所・旧跡・生活の歴史を探訪します。

平成30年度も継続して、豊川の様々な治水施設や関連する史跡を巡り、豊川の歴史、自然、防災知識の普及を目指し、水防災意識社会再構築ビジョンの取組を啓発する、「水防災ウォーク」を実施します。



牛川霞堤地区での記念撮影



ウォーキングの様子



愛知大学藤田先生の説明の様子



職員による豊川放水路の説明

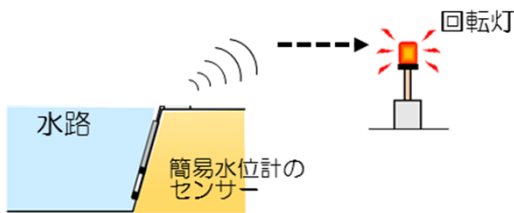
(2) 霞堤地区の浸水被害の軽減へ向けた取り組み

◇事業の目的

牛川霞堤地区・下条霞堤地区・賀茂霞堤地区・金沢霞堤地区の浸水被害の軽減を図ることを目的に、ハード・ソフト対策について検討します。関係機関や地元と調整し、対策を進めます。

◇平成30年度の実施内容

平成28年度に策定した「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画」に基づき、ソフト対策については、簡易水位計や浸水周知の回転灯の設置運用等、またハード対策については、小堤の設計及び用地調査等を進めます。



簡易水位計・回転灯 イメージ



霞堤地区を含む豊川遠景

牛川霞堤地区 防災情報ポータル

雨量の分布、川の水位、ライブカメラ画像をまとめて見る

4つの画面で、雨量、川の水位、ライブカメラ画像を同時に見ることができます。

- 雨量の分布、川の水位、ライブカメラ画像を同時に見る

過去の洪水の様子を知る

過去の洪水時に浸水したおおよその範囲を確認できます。

- 近年の洪水の最大浸水範囲 (H15洪水・H16洪水・H23洪水)

牛川霞堤地区周辺の川の水位を見る

現在の川の水位と現在までの水位の時間変化を見ることができます。

- 当古
- 牛川霞堤地区周辺の他の地点も見たい

様々な雨の時の洪水の様子を知る

洪水時に豊川・豊川放水路が氾濫した場合のシミュレーションによる洪水浸水想定区域※を確認できます。

- S44洪水規模による浸水範囲の時間変化
- H23洪水規模による浸水範囲の時間変化

カメラで川の様子を見る

現在の川の画像が10分おきに更新されます。

- 霞堤地区内の様子
- 霞堤地区開口部の様子
- 霞堤地区近くの豊川の様子
- 牛川霞堤地区周辺の他の地点も見たい

過去の洪水の様子を知る

洪水時に豊川・豊川放水路が氾濫した場合のシミュレーションによる洪水浸水想定区域※を確認できます。

- 150年に1度の規模の降雨による洪水浸水想定区域
- 想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域

※洪水浸水想定区域は、堤防決壊する場合の複数のシミュレーション結果を重ね合わせて作成したもので

霞堤地区の防災情報ポータルサイト

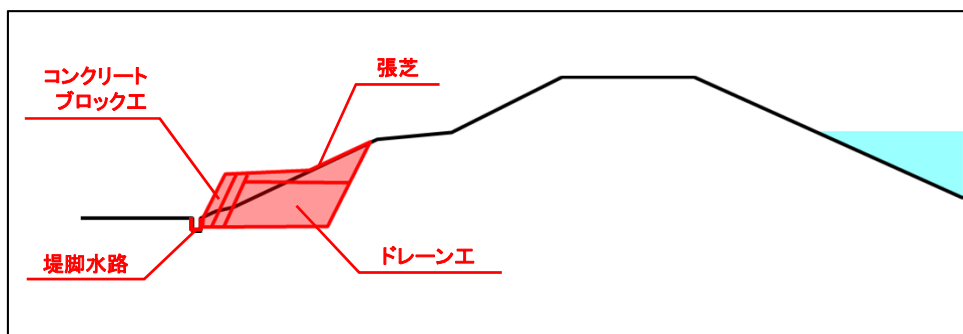
(3) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

◇事業の目的

豊川水防災サミットにて推進する、『「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく豊川の減災に係る取組方針』に係るハード対策として、「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」を実施し、早期の治水安全度の向上を図ります。

◇平成30年度の実施内容

牛川地区において堤防の裏法滑り対策として浸透対策（ドレーン工）を実施します。



浸透対策イメージ図

2. 平成29年台風21号により 被災した堤防復旧【災害復旧】

(1) 平成29年台風21号により被災した堤防復旧

◇平成29年10月台風21号の高波浪により堤防内に河川水が進入し堤体漏水が発生しました。

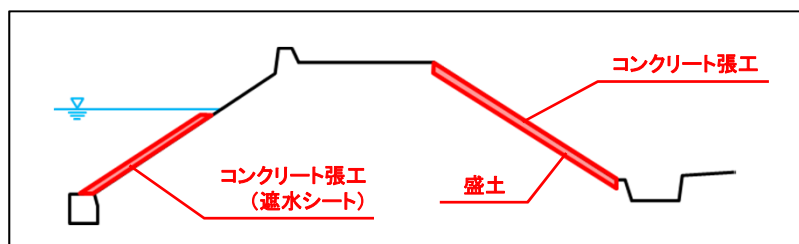
これにより、堤防内の土砂が流出したため豊川及び豊川放水路清須地区において川表護岸の復旧とともに堤防の機能復旧を行います。



豊川右岸(豊橋市清須地区)



豊川放水路左岸(豊橋市清須地区)



復旧エイメージ

3. 良好な河川環境の保全と創出

【環境】

(1) 豊川自然再生事業

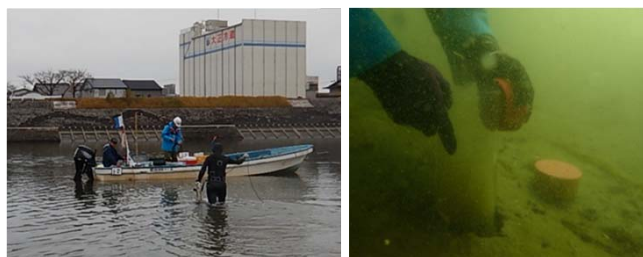
豊川にはかつて広大な干潟がありました。昭和40年代からの開発行為により減少しました。

豊かな自然のある豊川、そしてより良い三河湾につなげるために、かつての干潟やヨシ原の再生に取り組んでいます。

自然再生計画に基づき施工した河口干潟とヨシ原のモニタリング調査やアサリ調査を実施します。



豊川流域圏自然再生検討会



アサリ調査のようす

1) 河口干潟の再生



施工した干潟に飛来する鳥類

2) ヨシ原の再生



ヨシ原の再生前 (H17.12)



再生したヨシ原 (H29.9)

4. 着実な維持管理 【維持管理】

(1) 治水機能を維持し、安心して快適な河川の利用を支える
日常的な維持管理を行っています。

◇堤防の健全性を点検

日常の河川パトロールだけでなく、堤防の除草を行い堤防の亀裂
や法崩れ、漏水などの異常箇所を早期に発見するため堤防点検を実施
します。



河川巡視の状況



堤防点検の状況

(2) 老朽化した河川管理施設の補修

◇事業の目的

豊川及び豊川放水路の機能を確保するため、老朽化した河川管
理施設の補修等を実施します。



堤防天端の補修状況



石積みの補修状況

◇豊川放水路分流堰

豊川放水路の機能を確保するため、計画的に維持管理し、老朽化した可動堰設備の長寿命化を実施します。



平常の状況



放流の状況

◇古川排水機場

内水排除の機能を確保するため、計画的に維持管理し、老朽化した排水設備の長寿命化を実施します。



古川排水機場



排水ポンプの整備

(3) 流水の正常な機能維持と増進

◇寒狭川堰

寒狭川堰により不特定容量を確保し、寒狭川導水路を建設することにより、寒狭川堰下流及び宇蓮川の大野頭首工下流の流水の正常な機能の維持と増進を図っています。



寒狭川堰
(平成14年度 完成)

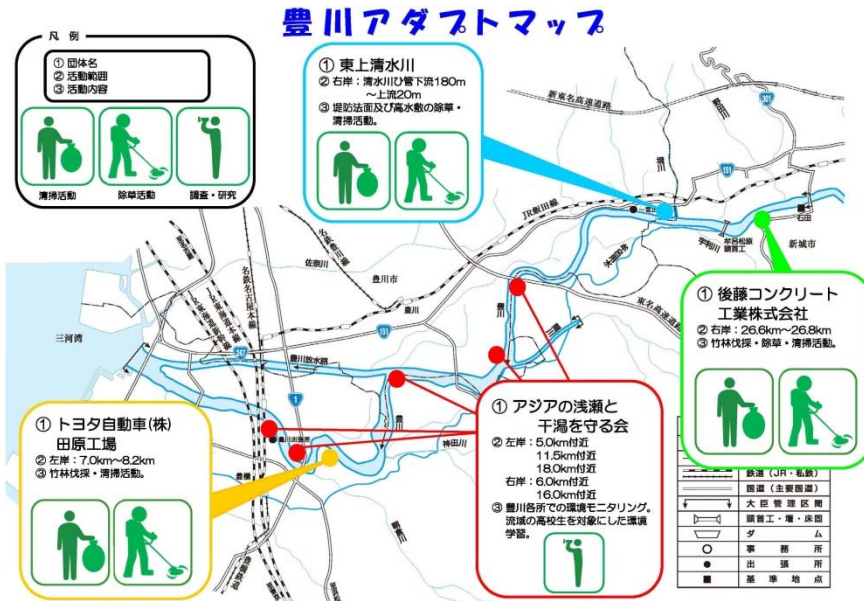
(4) 地域と協働した効率的な河川管理の推進

◇住民参加型の河川管理

豊川アダプトの登録団体をはじめ、流域の皆様や企業の協力体制のもと、河川敷のゴミ清掃や草刈などを実施しています。



■豊川アダプト【トヨタ自動車 田原工場】による竹の伐採活動（豊橋市牛川）



豊川アダプトの登録状況

◇流域内での資源循環

資源の有効利用の観点から、堤防除草で発生する刈草を堆肥などに活用する希望者を募り配布しています。また、河川内樹木の伐木も希望の方に配布すると共に、希望者自ら樹木を伐採できる「公募伐採」も取り組みます。



伐木の希望者への無料配布

◇出水期前の点検・訓練

河川の増水（出水）が集中する時期に入る前に、河川内に許可を受けて設置されている施設の現地点検を施設管理者と一緒にを行うとともに、河川内の公園については、増水時に流される恐れがある施設の撤去訓練を指導し、出水時の流域の安全の向上に努めます。



河川内公園のトイレ撤去搬出訓練

5. 災害・事故に対する危機管理体制の強化 【防災・減災、地域支援】

(1) 災害・事故に対する危機管理体制の強化

1) 洪水に対する危機管理

洪水時は、情報の収集、河川巡視などを行い、関係機関に情報提供を行います。

2) 水質事故に対する危機管理

豊川・矢作川水系水質汚濁対策連絡協議会の関係機関と連携し、被害の防止・軽減に努めます。



水質事故対策実技講習

3) 平常時からの備え

災害対策用車両を配備し、災害に備えます。

- ・排水ポンプ車 3台
- ・照明車 2台
- ・災害対策本部車 1台

普段からこれら車両の操作訓練等を実施し出動に備えています。また、津波被害を軽減するため、河川の堤防に海拔情報を表示しています。



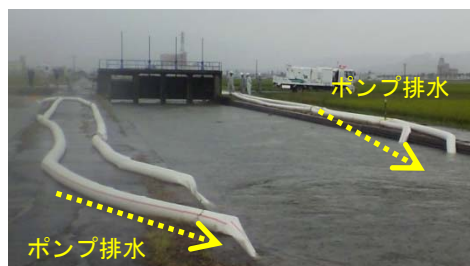
排水ポンプ車操作訓練

(2) 被災している地域への支援

大規模災害により被災した自治体に、職員や災害対策用車両を派遣し、活動を支援します。



豊橋市竜巻被害 ブルシート提供
(台風8号 豊橋市 前芝地区 平成29年8月)



湛水被害時における支援状況
(排水ポンプ車による排水活動 豊川市 善光寺川 平成27年9月)

6. 地域住民との交流 【地域交流】

豊川の治水や河川環境について分かりやすく説明する出前講座や総合学習等への協力など地域交流に取り組んでいます。



豊川放水路分流堰の施設見学会(流域の小学校の社会見学にも対応します)



水生生物調査



水難事故防止の啓発活動



災害対策用機械(照明車)の操作体験



学校参観での出前講座



CCTVカメラによる遠隔監視、リアルタイムで河川水位や雨量・水質等を常時監視しています。
これらの画面や情報は、インターネットを通じて広く提供していますので、是非ご利用下さい。

* 豊橋河川事務所HP内「河川防災情報」をご覧ください。
<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kasen/>

総務課
(0532)48-2111
経理課
(0532)48-8101
工務課
(0532)48-8103
調査課
(0532)48-8107
管理課
(0532)48-8105
占用調整課
(0532)48-8112

豊川出張所
〒440-0071 豊橋市北島町字北島364
TEL (0532) 52-8098
一宮出張所
〒441-1201 豊川市東上町松本254-2
TEL (0533) 93-2215
岡崎出張所
〒444-2136 岡崎市上里2-8-12
TEL (0564) 22-1564
安城出張所
〒444-1164 安城市藤井町南居林18-2
TEL (0566) 99-0402

※用地課はH27年度廃止され、総務課用地係となりました。
用地関係の連絡先は従来通り(0532)48-8102です。

国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所

〒441-8149 豊橋市中野町字平西1-6 TEL(0532)48-2111(代表) FAX(0532)48-8100
<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/> E-mail: cbr-toyohashi@mlit.go.jp

※H28.2.12よりメールアドレスが変更になりました。